

「いのち会議」アクションパネル 「SDGs + beyond」

～ASEAN諸国とモンゴルにおけるSDGsの諸課題（1回目）～

2025年5月14日（水）17:30-19:30

会場：大阪大学中之島センター5階「いのち共感ひろば」

定員50名、オンライン50名（ハイブリッド開催）

写真 UNHCR HP

趣旨

国連の発表によれば、2030年までの目標達成には大きな遅れが生じ、169のターゲットのうち、評価可能なターゲットにおいて現時点で順調に進んでいるのはわずか17%にとどまり、2030年のSDGsの目標達成について「達成する見込みには遠く及ばない」と強い危機感を表明しています。

進捗が顕著に遅れているのは、目標2「飢餓をゼロに」、目標8「働きがいも経済成長も」、目標13「気候変動に具体的な対策を」とされており、これらの問題は、紛争、健康、教育、など様々な課題に関係しています。また、これらの影響を最も強く受けるのは、国内外の脆弱に人びとであり、それらの実態を理解した上で、SDGsの達成に向けた努力が必要となります。

現在、国際協力機構（JICA）の研修員として、ASEAN諸国とモンゴルから政府職員が来日し、大阪関西万博などの国際的催事やSDGsについて学んでいます。研修員は、これらの研修を通じて「いのち会議」の事業にも参加しています。

本アクションパネルでは、2週間にわたり来日中の6名が研修員から自国の課題や解決に向けた取り組みについてお話をいただき、我々が協働して、今後の取り組みや目指すべき社会のあり方について考える機会となれば幸いです。

今回（1回目）は、モンゴル、インドネシア、フィリピンの研修員が登壇します。

（日英通訳も配置されますので、お気軽にご参加ください。）

プログラム

- いのち会議について 堂目 卓生（「いのち会議」実行委員長/大阪大学総長補佐/SSI長）
 - 話題提供 1：Mr. KHURELBAATAR Mergenshagai, Mongolian National Chamber, Mongolia
 - 話題提供 2：Ms. HAYYAH Husnul, Ministry of National Development Planning, Indonesia
 - 話題提供 3：Mr. OROPEZA Milo, Tourism Promotion Board Philipinnes, Philippine
- 司会進行・モデレーター 田和 正裕 大阪大学SSI教授

お申込み

お申込みフォーム

<https://x.gd/FyHBf>

（右のQRコードからもお申込みいただけます）

お問い合わせ（大阪大学SSI） ssi@ml.office.osaka-u.ac.jp

